

VOL. 14は、以下の内容でお届けします。

- 地震大国日本 参議院議員 進藤金日子(かねひこ)
- 平成31年度予算に向けた闘いが始動
- 多数の提出法案が成立、引き続き成立に向け努力
- 自民党政調棚田支援に関するプロジェクトチームの状況
- 与党技術士議員連盟の動き
- 活動状況 (2018.6.1~6.30)

■ 地震大国日本

参議院議員 進藤金日子(かねひこ)

6月18日に大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生しました。4名の方がお亡くなりになり、多くの負傷者や家屋等への被害が出ました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしますとともに負傷された方、家屋の損壊等を受けられた方々にお見舞いを申し上げます。

また、6月17日には群馬県南部で、6月14日には静岡県西部、千葉県南部で、6月12日には釧路沖で地震が発生するなど各地で地震が頻発しています。地震大国日本では、首都直下地震や東南海トラフ地震の発生が懸念されるなど地震に対する対策は喫緊の課題です。ハード整備はもちろんのこと、常日頃からの備えも不可欠です。

今後とも、東日本大震災や熊本地震などの教訓を活かし、防災・減災を核とした国土強靱化の取組に全力を傾注して参ります。

=====
■ 平成31年度予算に向けた闘いが始動

6月15日に「経済財政運営と改革の基本方針2018」（いわゆる骨太方針）や「未来投資戦略2018」が閣議決定されました。経済再生と財政健全化を両立させ、2025年度のプライマリーバランス黒字化に向け、これから各種の対策が行われることとなります。これから骨太方針等を踏まえ概算要求基準（シーリング）が示され、これらをベースにした平成31年度予算に向けた闘いが始まります。まずは、8月末の各省庁の概算要求提出に向け、皆さんの置かれている実情や思いを余すことなく政府のご理解を得る必要があります。農業農村整備関係については、6月13日に全国各地から大勢の皆さんが東京に結集し、平成31年度予算確保に向けた集いが開催されました。そして、関係団体においても総会等を開催し予算確保に向け動き始めました。

私も農林水産業の成長産業化、地域の活性化に向け平成31年度予算の確保に向け最大限の努力をして参ります。

※骨太方針等の資料の詳細は、以下のアドレスから参照願います。

○骨太方針2018

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2018/decision0615.html>

○未来投資戦略 2018

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/#senryaku2018>

=====

■ 多数の提出法案が成立、引き続き成立に向け努力

通常国会は7月22日まで会期が延長され、まだまだ本会議・委員会での審議が続きますが、農林水産省から提出された法案はいずれも成立しました。また、TPP11協定やこれに関連する整備法、所有者不明土地の利用の円滑化に関する法律など、農林水産業に関連する条約・法案も成立しました。

今後ともこれらの法律が、農林水産業の成長産業化にとって実効あるものとなるよう、具体的な運用をしっかりと見極めていく必要があります。現場において気付きの点等がありましたらご意見をお寄せください。

通常国会も終盤戦に入り、国民生活にとって重要な法案もまだ残っていますが、引き続き緊張感を持って成立に向け取り組んで参ります。

※法案の審議状況は以下のアドレスから参照願います。

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/gian/196/gian.htm>

=====

■ 自民党政務調査会棚田支援に関するプロジェクトチームの状況

日本の原風景と言うべき美しい景観を形成する棚田は、日本人の心に潤いとやすらぎを与え、地域固有の風土や文化の伝承、多面的機能の保全・発揮を担うなど、国民にとって重要な共有の財産です。

現在自民党では、国民共有の財産である棚田を未来へ継承するため、棚田地域の維持・保全に対する支援策を検討しています。現在、関係省庁や棚田地域関係者等のヒアリング等を横断的に行いながら検討を深めています。

私も事務局次長として議論に参画していますので、ご意見等ありましたら皆さん方の声も届けていただけると幸いです。

=====

■ 与党技術士議員連盟の動き

私が事務局を担当している与党技術士議員連盟の会議を6月20日に開催しました。

会議では文部科学省から科学技術・学術審議会技術士分科会の動向を聴取するとともに、日本技術士会から技術士制度の検討状況を、各省庁から技術者育成等に係る取組状況等を、3部門の技術士の方から要望等を聴取しました。技術士制度の更なる充実と、技術士の産業界での活躍促進には様々な課題がありますが、一歩ずつ解決に向け努力して参ります。

また各現場における技術者不足も極めて深刻な問題です。技術士制度の充実と合わせ、技術者の確保・育成に向け取り組んで参ります。

皆さんからの声をお待ちしています。

会議資料3種類は、以下のアドレスから参照願います。

<http://www.shindo-noson.jp/HotNews/HN06VOL14/Hotnews06.html>

同じ内容ですが、各資料のpdfは以下から入手して下さい。

※ 技術士制度の見直し検討状況について

<http://www.shindo-noson.jp/info/VOL14-1GijutsushiSeidoMinaoshi.pdf>

※ 科学技術・学術審議会 技術士分科会の動向について

<http://www.shindo-noson.jp/info/VOL14-2GijutsushiBunkakai.pdf>

※ 今後の技術士制度の在り方について（概要）

<http://www.shindo-noson.jp/info/VOL14-3KongonoGijutsushiSeido.pdf>

=====

